

Title	「経済学名著集」の刊行
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1921
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.15, No.8 (1921. 8) ,p.1211(149)- 1212(150)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19210801-0149

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ち「土地以外ノ財ノ使用ヲ他ニ許シテ、其對價トシテ收受スル所得ヲ利子ト云フ、其財ガ生産ノ爲ニ使用セラル、場合、即チ生産要素トシテ用キラル、場合ノミナラズ、純營利ノ爲に用キラル、場合ニ於テモ利子ヲ生ズルヲ常トス」(四〇一頁)と云ひながら「利子ハ財ガ營利的生産及ビ純營利業ニ於テ使用セラル、場合ニ、換言スレバ營利資本トシテ使用セラル、場合ニ限り發生スルモノトス」(四〇二頁)と、忽ち利子が純生産要素たる資本に仕拂はるゝものにあらずして、營利資本のために仕拂はるゝことを認め、且つ生産論に於て單に「資本」と稱したるものに對し新に「資本財」なる名稱を付し、兩概念を有する「資本」の區別をするの已むを得ざるに立到つてゐる。

これと同様の缺點は利率の説明に於ても現れて來る。即ち「資本財ヲ提供スルコトハ貨幣ヲ提供スルコトニヨリテ行ハル、從ツテ資本財利用ノ對價ハ其提供セラレタル貨幣ニ對シテ一定ノ貨幣ヲ提供スルコトニヨリテ行ハル、兩者ノ割

ことが出来る、その人口論、土地收穫遞減の法則、並びに勞働を論ずるところは著書の最も苦心の存するところであらう。二三の著書を除外、在來の多くの邦書が古い内容を古い形式で取扱ふ中に於て本書の如きは確かに一進歩を劃するものであらう。

園 乾 治

合ヲ利率トイフ」(四〇四頁)。「利率ハ資本財ニ對スル需要供給ノ關係ニヨリテ決定セラル」(四〇二頁)と云ふが如きは些か窮したる言ではあるまいか。

尙、氏は經濟學を以て貨幣の學問なりとするものにして「經濟學ハ貨幣ヲ以テ表ハサル、物質ニ關スル學問ナリトイフヲ得ベシ、簡單ニイヘバ、經濟學ハ貨幣ノ學問ナリトモイヒ得ルナリ」(一二二頁)。慾望の強弱を測るに方りても「其尺度ハ即チ、貨幣ニシテ或者ガ其有スル或慾望ヲ満足セシムル爲ニ、支出スルコトヲ否マザル額ヲ以テ其慾望ノ強サナリトスルモノナリ」(八一頁)。或ひは財も富も貨幣額を以て表すことを得るものにして、價值も亦貨幣額を以て表すことを得ると云へり。從つて貨幣の研究に對して分配論中の一章を充てたるは至當ならんも、全篇を通じて價值を論ずること頗る簡單にして、總論中僅かに五頁を費すに過ぎざるは、甚だ妥當ならざるやの觀がある。

雜 報

「經濟學名著集」の刊行

慶應義塾大學經濟學部の有志間には久しき以前より系統的に經濟學上の諸名著を翻譯するの計畫ありしが、今回愈々其第一期の計畫として「クラシカル・スクール」の代表的大著たる

- Adam Smith, Wealth of Nations.
- Thomas Robert Malthus, Essay on the Principles of Population.
- David Ricardo, On the Principles of Political Economy and Taxation.
- Jean Baptiste Say, Traité d'Economie Politique.
- Nassau William Senior, An Outline of Political Economy.
- John Stuart Mill, Principles of Political Economy.

の六部を選ぶこととし、先づアダム・スミスの「國富論」は高橋誠一郎氏其の解題を草し、エドモン・キャンナン版を探りて、第一編及び第二編を氣賀勘重氏、第三編及び第四編を高橋誠一郎氏、第五編を堀江歸一氏分擔翻譯することに決し、之れを三卷に分冊して本年末より順次岩波書店の手に出版せらるゝ運びと爲れり。尙ほマルサス「人口論」は高橋誠一郎氏解題を書し、一千七百九十八年第一版を三邊金藏氏原版より譯出し次いで増訂版を原著者生前の最終原版によりて小泉信三氏監修の下に加田哲二氏第一編を、與井復太郎氏第二編を、園乾治氏第三編を、野村兼太郎氏第四編を翻譯し、リカードオの「經濟及び租税原論」は小泉信三氏、セーの「經濟論」は増井幸雄氏擔任のことに決定し、目下其れ其れ準備に怠りなしと云ふ。

前號(第十五卷第七號)目次(大正十年七月號)

論說

基督教會と微利問題(一)

高橋誠一郎

國際貸借の理論と償金問題

堀江 歸一

鐵道經費の結合性

増井 幸雄

マナーと莊園の比較

瀧本 誠一

雜 錄

組合社會主義に對するウイリヤメスの批評

三邊 金藏

シヨオを中心として觀たるフュビヤン

町田義一郎

社會主義運動(一)

野村兼太郎

經濟史研究に就いて(一)

野村兼太郎

社會思想家としてのウイリアム・モリス(一)

加田 哲二

米國の通貨收縮論

堀江 歸一

福田德三著改訂増補國民經濟講話

小泉 信三

土田杏村著マルクス思想と現代文化

野村兼太郎

本位田祥男著消費組合運動

加田 哲二

新刊紹介

●一冊定價 金五拾錢
●半年定價 金貳圓九拾錢
●一年定價 金五圓四拾錢
●郵税金壹圓五厘
●郵 稅 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限
大正十年七月三十一日印刷納本
大正十年八月一日發行
每月一回一日發行

三田 學 會 禁 轉 載
第五卷 第八號
編輯者 江 田 龜 保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵 五 郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
金 子 活 版 所

東京市芝區三田貳丁目壹番地
發 賣 元 國 文 堂 書 店
電話高輪一三三七番
振替東京四六九四九番

●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 慶應義塾内
理財學會